

アセスメントシート

		項目	支援の有無	程度
日常生活面	衣類着脱	着脱行為	<input type="checkbox"/> 有	
		服装の選択	<input checked="" type="checkbox"/> 有	ほぼ母親が用意したものを着ている。
	整容行為	歯磨き	<input type="checkbox"/> 有	
		洗顔	<input checked="" type="checkbox"/> 有	時折忘れることがあり、声掛け必要
		整髪	<input checked="" type="checkbox"/> 有	時折忘れることがあり、声掛け必要
		髭剃り	<input checked="" type="checkbox"/> 有	時折忘れることがあり、声掛け必要。また、剃り残しあることがある。
	衛生保持	手洗い	<input type="checkbox"/> 有	
		爪切り	<input checked="" type="checkbox"/> 有	時折忘れることがあり、声掛け必要
	調理全般	調理	<input checked="" type="checkbox"/> 有	やったことが無いので支援が必要
		安全確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有	やったことが無いので支援が必要
	家事全般	洗濯	<input checked="" type="checkbox"/> 有	やったことが無いので支援が必要
		洗濯物干し	<input checked="" type="checkbox"/> 有	やったことが無いので支援が必要
		掃除	<input checked="" type="checkbox"/> 有	やったことが無いので支援が必要
		衣類整理	<input checked="" type="checkbox"/> 有	やったことが無いので支援が必要
		所持品整理	<input checked="" type="checkbox"/> 有	やったことが無いので支援が必要
	特記事項			
<p>母親がある程度身の回りのこと（調理、洗濯、掃除など）はやってくれていた。本人は、積極的に身だしなみを整えたり、片づけをすることは苦手であるが、声掛けをすれば、自分で行える。片づけはどこに何を置いてよいかわからなくなり、わからないまま放置をするのでそのままにしておくと、部屋が散らかってしまう状況。日常生活ではやらなければならないことの優先順位がつけられない。家事はやったことがないが、援助があれば少しはできるようになるのではないかと母親は話していた。朝起きるのが苦手であるので、就労継続支援B型事業所に通うときには遅刻が頻回になることが懸念される。</p>				
コミュニケーション	困ったときに相談するところ 生活上の支援機関、支援者など			
	相談支援センター「相談室クリエイト」・・・サービス等利用計画作成 相談支援			
	就労センター「多機能型事業所HOKKAIDO」・・・利用予定の就労継続支援B型事業所			
	グループホーム「共同生活援助NANGO」・・・利用予定のグループホーム			
	中央精神科クリニック・・・外来通院先			
	意志の表現方法			
<p>言葉でのコミュニケーションは可能ではあるが、質問を理解していないのか、質問と回答が違うことがある。仕事をするときには丁寧に教えることが必要で、覚えるまでに時間がかかる。覚えてしまうと動作は早い。自分から積極的に質問するタイプではなく、困ったことや心配なことがあっても本人から相談をすることが苦手である。周囲の人は本人が理解していると思い、仕事を進めるので、本人は分からずに立ち尽くしてしまうことがあった。</p>				

社会参加・移動	好きなこと	
	インターネットでのゲーム。将棋。	
	嫌いなこと	
	世間話し	
家庭生活	移動の方法	
	徒歩、公共交通機関の利用可能	
経済状況	グループホームで生活をする予定	
	主な生活財源	生活保護申請予定
	就労による収入	0円 預貯金 10万円ほど(グループホームにかかるお金に使用)
感情・思考の障害	障害年金申請中	
	抑うつ気分	<input checked="" type="checkbox"/> 有 時折鬱的な気分になることあり。あまりにもひどいと頓服を服薬
	思考の停止	<input checked="" type="checkbox"/> 有 物事の進め方がわからないと思考が止まってしまう
特記事項	専門学校卒業後は、就職活動をしてなかなか就職が決まらなかった。その後、アルバイトをするものの長続きはせず、離転職繰り返す。自分から相談することは苦手である。家では、親から支持をされれば身の回りのことは行えるが、やることが重なると何から手を付けてよいのかわからず、考えが止まってしまうと話している。調理や洗濯等のことは親がやってくれるので、自分からはやらなかったとのこと。両親ともに協力的ではあるが、今後の本人のことについては心配をしている。	
その他	主治医からは、眠剤は本人が十分に生活リズムを整えることができれば、服薬する必要はないと言われている。今は、本人も自信を無くしているのでアルバイト等を行わず、まずは福祉事業所等を活用することを勧められている。一人暮らしも本人の生活状況を見てからした方が良いのだと言われている。	